

化石研 ニュース

No.119

2014/03/17

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

第32回化石研究会総会・学術大会の ご案内

第32回化石研究会総会・学術大会（通算141回）を、下記の予定で開催いたします。今回は埼玉県立自然の博物館と共催で、「長瀬恐竜フェスタ2014」と銘打ち、最近日本各地で新たな発見の相次ぐ、恐竜化石研究を話題として、シンポジウムが開催します。「地質学発祥の地」長瀬へぜひお出かけください。

- 日 時：2014年6月14日（土）、15日（日）
- 会 場：埼玉県立自然の博物館（埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1）
最寄り駅は、秩父鉄道・上長瀬駅です（上長瀬駅より徒歩3分）。
- 参加費：化石研究会会員は無料
非会員は博物館入館料が必要です（一般：300円、学生：100円）
- 概 容：（今のところ **予定** です。確定版は次号の化石研ニュース・HPに掲載いたします）

シンポジウム（一般公開）

テ ー マ：最新恐竜研究～発掘から復元まで～

日 時：6月14日（土） 13:00～15:45

会 場：埼玉県立自然の博物館 2階講堂（定員100名）

世 話 人：北川博道（埼玉県立自然の博物館）

講 演 者：高桑祐司（群馬県立自然史博物館）・久保田克博（神流町恐竜センター）
平山 廉（早稲田大学国際教養学部）
徳川広和（株式会社Actow）

近年、日本各地から恐竜化石の発見が相次ぎ、多くの化石研会員も関係しています。そして、会場となる埼玉県の秩父地域にも下部白亜系の山中層群が分布しており、アンモナイトやベレムナイトなどの化石が見つかっています。同じ群馬県側からは恐竜化石も発見されています。今回のシンポジウムではこの山中層群を対象に行われた発掘調査について高桑さんと久保田さん（共同発表）からご講演いただきます。そして、現在まさに発掘を行っており、新たな発見がされている岩手県久慈市の発掘について平山さんに発表していただきます。そして、発掘された恐竜化石がどのように復元されているのかについて徳川さんにご講演いただきます。

総会議事（会員のみ）

日 時 : 6月15日（日） 10:00～10:40
会 場 : 埼玉県立自然の博物館 2階講堂

一般普及講演（一般公開）

日 時 : 6月15日（日） 10:50～12:10
13:30～15:50
会 場 : 埼玉県立自然の博物館 2階講堂

ポスターセッション（一般公開）

日 時 : 6月15日（日） 13:00～13:30
会 場 : 埼玉県立自然の博物館 2階講堂講堂
講堂内にポスターボードを設置します（14日から掲示可能）。
※ポスター掲示可能範囲は幅85cm、高さ175cmです。

その他イベント・会議

懇親会

日 時 : 6月14日（土） 17:30～20:00
会 場 : 現在調整中、秩父鉄道長瀬駅または上長瀬駅周辺を予定
申し込み : 6月1日までに参加の意思を北川までご連絡ください。

化石研×自然の博物館体験工房 丹波竜復元にチャレンジ

日 時 : 6月14日（土） 10:30～12:00
会 場 : 埼玉県立自然の博物館 科学教室（定員：20名）
対 象 : 小学生以上（小学生3年生までは保護者の付き添いが必要）
講 師 : 徳川広和（株式会社Actow）
費 用 : 参加費300円（そのほかに材料費800円が必要）
申し込み : 埼玉県立自然の博物館ホームページよりイベント参加申し込みを行ってください。

運営委員会

日 時 : 6月14日（土） 11:50～12:50
会 場 : 埼玉県立自然の博物館 会議室
運営委員会参加者には昼食（弁当）がでます。

常設展示、特別展「恐竜時代～陸と海の支配者たち」

観 覧 料 : 化石研究会会員の皆さんは無料でご覧いただけます。
14日・15日は多くの入館者が期待されるため、化石研究会会員の皆様は正面玄関からではなく、関係者入り口に設けた仮設受付で手続きを済ませ、入館ください。

貴方の作品、博物館に展示してみませんか？

復元模型や、骨格標本など、制作活動をしている方。専門家の前でご自身の作品を披露してみませんか？有意義なコメント等もらえるかもしれません。
展示は6月14日・15日の二日間。出展希望される方は北川までご連絡ください。

一般講演、ポスター発表、展示発表を募集

第32回総会・学術大会の一般講演、ポスター発表を募集します。

次の要領で申し込んでください。その他に、展示発表等の展示物など希望がある方は、事務局にご相談ください。

＜一般講演、ポスター発表をご希望の方＞

演題申し込み期限 **5月1日(木)**

方 法：メールにて講演者名・所属、連絡先、演題名、口頭・ポスターの区分を明記しおしらせください。メールにて申し込みのできない場合は、ハガキに上記内容を記入し、埼玉県立自然の博物館 北川博道宛てにお送りください。

講演予定者で、派遣申請等が必要な場合は申込時にその旨お伝えください。埼玉県立自然の博物館より所属先へ申請いたします。

講演要旨受付締切 **5月23日(金)**

方 法：一般講演の要旨はA4サイズ(縦)1枚に11ポイントで本文1300文字程度にまとめてください。提出はメールに添付するか、完成原稿をお送りください。

シンポジウムは講演30分、質問10分。一般講演は講演15分、質問5分を予定しています。申し込み人数により前後する可能性があります。Windows パワーポイント搭載パソコンを用意します。Mac ユーザーの方はご自身のマシンをお持ちいただくことをお勧めします。

申し込み・講演要旨送付・連絡先

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

埼玉県立自然の博物館 楡井 尊・北川博道

メールアドレス：kasekiken.saitama@gmail.com

電話番号：0494-66-0407（自然の博物館学芸） F A X：0494-69-1002

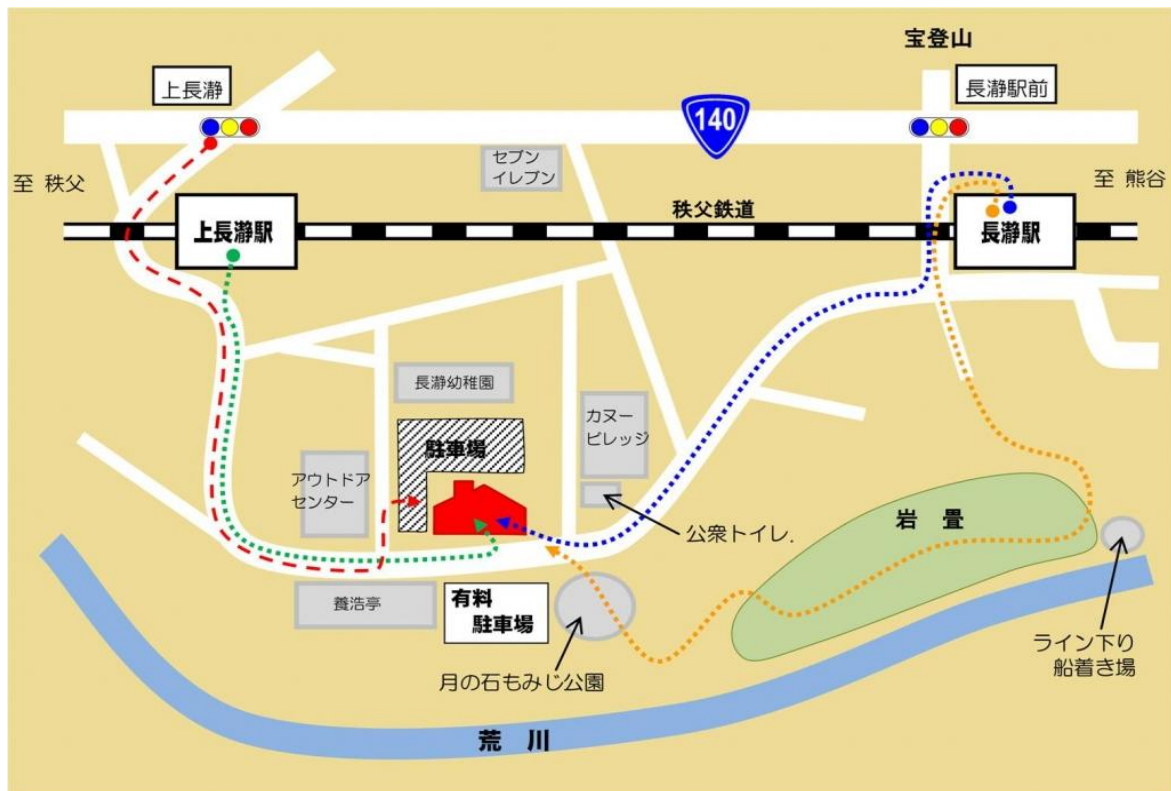
電話の場合、楡井か北川を呼んでください。

郵送の場合、自然の博物館 北川博道 宛てに送付してください。

※ 詳細については、後日、HPならびにニュース次号でご案内いたします。

埼玉県立自然の博物館へのアクセス

- 秩父鉄道、『上長瀨駅』下車、徒歩5分
- 秩父鉄道、『長瀨駅』下車、徒歩15分
- 関越自動車道をご利用の場合
『花園 I.C.』から、国道140号を秩父方面に約20km、『上長瀨』交差点を左折し、300m。
- 皆野寄居バイパス利用の場合
『皆野長瀨 I.C.』から熊谷方面に約2km、『上長瀨』交差点を右折し、300m。
【駐車場（無料）】 普通自動車用：32台 身体障害者用：2台



>>> 第142回例会（新潟県長岡市）のお知らせ(予告) <<<

詳細については次号の化石研ニュースにてご連絡する予定です。

開催日：2014年11月16日（日）

会場：さいわいプラザ

所在地：新潟県長岡市幸町2-1-1

世話人：加藤正明（長岡市立科学博物館）

化石研究会会誌編集委員会からのお知らせ

次号の化石研究会会誌から原稿送付先が変更となります。新しい送付先は下記の通りです。

埼玉県立自然の博物館 〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀨町長瀨1417-1

e-mail：kasekiken.saitama@gmail.com

TEL：0494-66-0407（北川博道・楡井 尊を呼び出してください）

FAX：0494-69-1002（北川博道宛て）

>>> 第140回例会の報告 <<<

2013年11月23日、滋賀県立琵琶湖博物館で化石研究会第140回例会が開催され、「解剖学で探る古生物の生態」というテーマにて、3人の若手研究者による講演会が行われた。

まず、大阪自然史博物館の林 昭次氏による「化石骨組織から解明する絶滅動物の生理・生態」という演題にて行われた。この講演では、骨を組織学的観点からアプローチすることによって絶滅動物の棲息時の生理や生態を明らかにする「骨組織学：Bone Histology」について、演者の研究成果も交えながら紹介された。恐竜の成長過程による変異を見極める研究や、デスモスチルスとパレオパラドキシアと同じ束柱類でありながら、棲息水域が異なるという研究が印象深かった。



例会会場の様子



林 昭次氏

次に、名古屋大学博物館の藤原 慎一氏による「かたちの違いは機能の違い—筋骨格系モデルによる絶滅四肢動物の前肢の姿勢・運動機能の復元法」という演題にて行われた。この発表では、絶滅四肢動物（ここでは、トリケラトプスといった恐竜やデスモスチルス）の前肢の姿勢・運動機能を復元するにあたって、従来の解剖学の教科書の内容を見直し、数多くの種類の標本を実際に解剖・CT撮像することで大量のデータに基づいて行われた研究に驚かされた。



藤原慎一氏

そして、岐阜県博物館の河部 壮一郎氏による「CTを用いた鳥類における脳形態の探究」という演題にて行われた。現生の四肢動物、とりわけ鳥類について、CT撮像によるエンドキャストを作成することで、脳形態についての基礎データを収集することで、最終的に絶滅動物の生態や系統、例えば、絶滅鳥類プロトプテルムの系統関係といったことを明らかにした研究に強く印象に残った。



河部壮一郎氏

今回の3人の演者の方は、それぞれ独自の研究手法を確立し、膨大なデータを積み重ねた上で、現在棲息していない絶滅動物を様々な分類群にて、棲息時の生理・生態・系統の復元を行っているのが、共通項として象徴的であった。また、今回の3人の演者の方は、私自身と世代の近い方々ということで、研究を進めていく上で、良い刺激を受けることができ、大いに励みになった。また充実した例会を運営していただいた琵琶湖博物館の方々に御礼を申し上げます。(丸山啓志)

(写真はすべて高桑祐司撮影)

>>> 博物館の特別展・企画展等の開催情報（2014・春）<<<

- ・丹波竜化石工房「ちーたんの館」(兵庫県)・・・「丹波竜の仲間たち 竜脚類展」/2014. 3. 21～2014. 5. 18
- ・御船町恐竜博物館 (熊本県)・・・2014. 4. 27 リニューアルオープン/旧館より約50m南に新館オープン。アパトサウルス全身骨格などが新たに展示。
- ・大阪市立自然史博物館 (大阪府)・・・特別展「恐竜戦国時代の覇者！トリケラトプス～知られざる大陸ララミディアでの攻防～」/2014. 3. 21～2014. 5. 25
- ・埼玉県立自然の博物館 (埼玉県)・・・特別展「どうなっているの？埼玉県の動植物」/2014. 2. 8～2014. 5. 25
- ・群馬県立自然史博物館・・・第45回企画展「生きものをまねる ネイチャーテクノロジー」/2014. 3. 15～2014. 5. 11

>>> 事務局だより <<<

■ 2014年度会費の納入をお願いします

年会費 4000円 (学生 2000円)

郵便振替 00100-7-633288 化石研究会

※ 一昨年の事務局移転に伴い、郵便振替の番号(↑)も新しくなっております。ご注意ください。

※ 納入状況は、会誌封筒の宛名ラベルでご確認ください。

3年間、会費未納の会員は、除籍となります。

- 今号では丸山啓志会員に、滋賀県立琵琶湖博物館で開催された例会の参加報告を執筆していただきました。どうもありがとうございました。
- 4ページにもありますように、化石研究会会誌の原稿送付先が、埼玉県立自然の博物館に完全移行いたします。これまで新潟で原稿受付業務を担当していただいていた編集委員の笹川一郎会員に厚く御礼申し上げます。

編集・発行：化石研究会事務局 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1

群馬県立自然史博物館 高桑祐司 気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/tepkun/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会 (カセキケンキュウカイ)

年 会 費 一般 4000円 (学生 2000円)

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページでも見るすることができます。現在、紙でニュースが郵送されている方の中で、紙で送らなくても良い方は是非ご連絡ください。費用と労力の削減に御協力ください。